



水巻 報 廣

3月1日 (1972)

No. 282

毎月一回各家庭に配布

町の人口

(47年1月末現在)

人口 24,296

男 11,742

女 12,554

世帯数 6,854

発行所 福岡県遠賀郡水巻町役場

発行人 伊藤衛門

編集人 企画管理室調査資料係

印刷所 冷平田印刷合資会社

電話(代表) 0536

町づくりへスタート

住みよい、安全で文化的な町へ 水巻町総合開発計画決まる

総合開発計画のスタートにあたって

水巻町長 伊藤 衛門



水巻町は現在、日炭閉山を契機として炭鉱町から脱皮して、新しい町づくりを始めた重大な時期であります。また日本経済の急激な発展に伴い、本町を取りまく社会情勢は大きく変動しており、住民の生活水準の向上や都市化の進展等により、地方自治体の行政需要は著しく増大し、しかも行政水準の高度化が要求されております。そのうえ交通機関の発達によって住民生活の圏域は著しく拡大され、行政の推進は必然のものとなっております。このような事態に対処するためには、単なる思いつきや場当たり的な行政でなく、総合的、計画的な行政をおこなう必要があります。このような意味において、今日ここに「水巻町総合開発計画」を公表するは、こびになりましたこと、は、まことによろこびにたえません。

今後われわれに課せられた重要な問題は、本計画をいかに効果的に実施していくかということである。本計画はひとり行政にたずさわるもののためにあるのではなく、住民すべてのものためにあるものであります。したがって、みなさまが積極的な町政への参加をいただき、総力をあげて計画の実施にあたることを肝要であり、ひとにみながまたがたの御協力をお願いいたします。

策定の経過

第一段階
総合的かつ計画的な行政の運営をはかるため、基本構想を定めて、町の将来を定める地方自治法が改正されたことにより、基本構想の策定を四十六年三月を目標に作業を開始しました。

第二段階
基本構想の策定を延期した。その後閉山問題について、国・県との協議をすすめるなかで、日炭の跡地再開発については、町独自の力だけでは不可能であり、国・県・その他の協力が必要であるというところから総合計画の策定を専門家に委託することになった。

第三段階
基本構想の策定を延期した。その後閉山問題について、国・県との協議をすすめるなかで、日炭の跡地再開発については、町独自の力だけでは不可能であり、国・県・その他の協力が必要であるというところから総合計画の策定を専門家に委託することになった。

第四段階
基本構想の策定を延期した。その後閉山問題について、国・県との協議をすすめるなかで、日炭の跡地再開発については、町独自の力だけでは不可能であり、国・県・その他の協力が必要であるというところから総合計画の策定を専門家に委託することになった。

第五段階
基本構想の策定を延期した。その後閉山問題について、国・県との協議をすすめるなかで、日炭の跡地再開発については、町独自の力だけでは不可能であり、国・県・その他の協力が必要であるというところから総合計画の策定を専門家に委託することになった。

水巻町総合開発計画(その一)

基本構想 目次

- 1 計画の考え方
- 2 目的・姿勢・意義
- 3 基本構想・基本計画・実施計画
- 4 基本構想の性格
- 5 基本構想の目標年次
- 6 水巻町の将来像
- 7 3まちづくりの目標
- 8 生活と生産の環境を確立すること
- 9 生活環境づくり
- 10 生産の環境づくり
- 11 地域構造の再編成
- 12 土地利用

少年よ、すこやかに

スポーツ少年団新たに13団体結成さる。



国旗授与式風景

本町では、すでに剣道少年団五団体、バレーボール女子少年団四団体、心と身体をきたえるために活動を続けていたが、昭和四十六年度に剣道少年団三団体、水泳少年団十団体が結成され、去る二月十三日、日本スポーツ少年団本部から交付された団旗の授与式を町民会館で行ないました。これで本町には二十二団体のスポーツ少年団が次をにう立派な人間になるために活動をつづけることになり、福岡県下の町村の中ではトップをゆく団体数になりました。

- 1 計画の考え方
- 2 目的・姿勢・意義
- 3 基本構想・基本計画・実施計画
- 4 基本構想の性格
- 5 基本構想の目標年次
- 6 水巻町の将来像
- 7 3まちづくりの目標
- 8 生活と生産の環境を確立すること
- 9 生活環境づくり
- 10 生産の環境づくり
- 11 地域構造の再編成
- 12 土地利用

附1 水巻町の計画計指標
以上のとおり「水巻町総合開発計画」が全五十一頁にわたって作成されており、次回広報より目次以下にそって掲載いたします。

◎少年団の紹介		
猪熊剣道少年団	二十五名	大久保文雄 下二小学校
梅ノ木	二十名	近藤 勇 折尾中学校
机	三十二名	下二校区水泳少年団
宮ノ下	三十名	大員 忠男 下二小学校
古賀	二十五名	石崎桂一郎 山田小学校
吉田バレーボール少年団	十四名	増田 一昭 農業
上二	十五名	塩田 良雄 下二小学校
下二	十五名	柿内 博 下二小学校
吉田区	十五名	直江 重美 日本地所
下二第一剣道少年団	二十二名	下二校区バレーボール少年団
下二第二	二十名	牛尾 茂敏 頃末小学校
下二第三	二十二名	池田 裕 水巻町役場
下二水泳スポーツ少年団	二十名	伊藤 義人 下二小学校
吉田	二十名	富松 静雄 日炭新聞販売部
上二	十八名	北村 章 自営業
吉田区	十九名	三浦 巨晃 下二小学校
頃末第一	二十名	川北 克秀 中央区
頃末第二	二十名	本田まさる 商業
古賀地区	二十名	頃末校区水泳少年団
机地区	二十名	門司 清春 北豊スイングクラブ
猪熊エンゼル水泳少年団	十二名	田中 正雄 頃末小学校
猪熊ドルフィン	十名	喜多村弘信 頃末小学校
合計団員数	四四八名	小林 和寿 頃末小学校
◎指導者の紹介(敬称略)		
下二校区剣道少年団	猪熊 英正 八幡区農協	
石松 敦 水巻南中学校	熊鷹 正思 机小学校	
下田 寅雄 教育委員会	真鍋 敏英 机小学校	
	時藤 恭一 机小学校	
	原田 宗幸 新日本製鉄	
	真角 立身 戸畑区役所	
	井上 斉 八幡消防署	
	井上 光 岡崎工業	
	佐々木芳夫 家事手伝	
	猪熊校区剣道少年団	
	中島 正勝 机小学校	
	太田 誠 日炭商事	
	北田 宏 日炭商事	

講和記念東京学生寮入寮生募集

福岡県では昭和四十七年度の講和記念東京学生寮入寮生を左記のとおり募集しておりますので、ご希望の方は役場厚生課(TEL 691-9631)までお問い合わせ下さい。

募集要項
●男子 英彦寮 約九名
●女子 筑紫寮 約五名
●使用料及び寮費 四千二百円
●在寮期間 二年

